

クイックスタートガイド



XENYX UFX1204

Premium 12-Input 4-Bus Mixer with 16x4 USB/FireWire Interface,
16-Track USB Recorder, XENYX Mic Preamps & Compressors,
British EQs and Multi-FX Processor

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用する際の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2017 無断転用禁止。

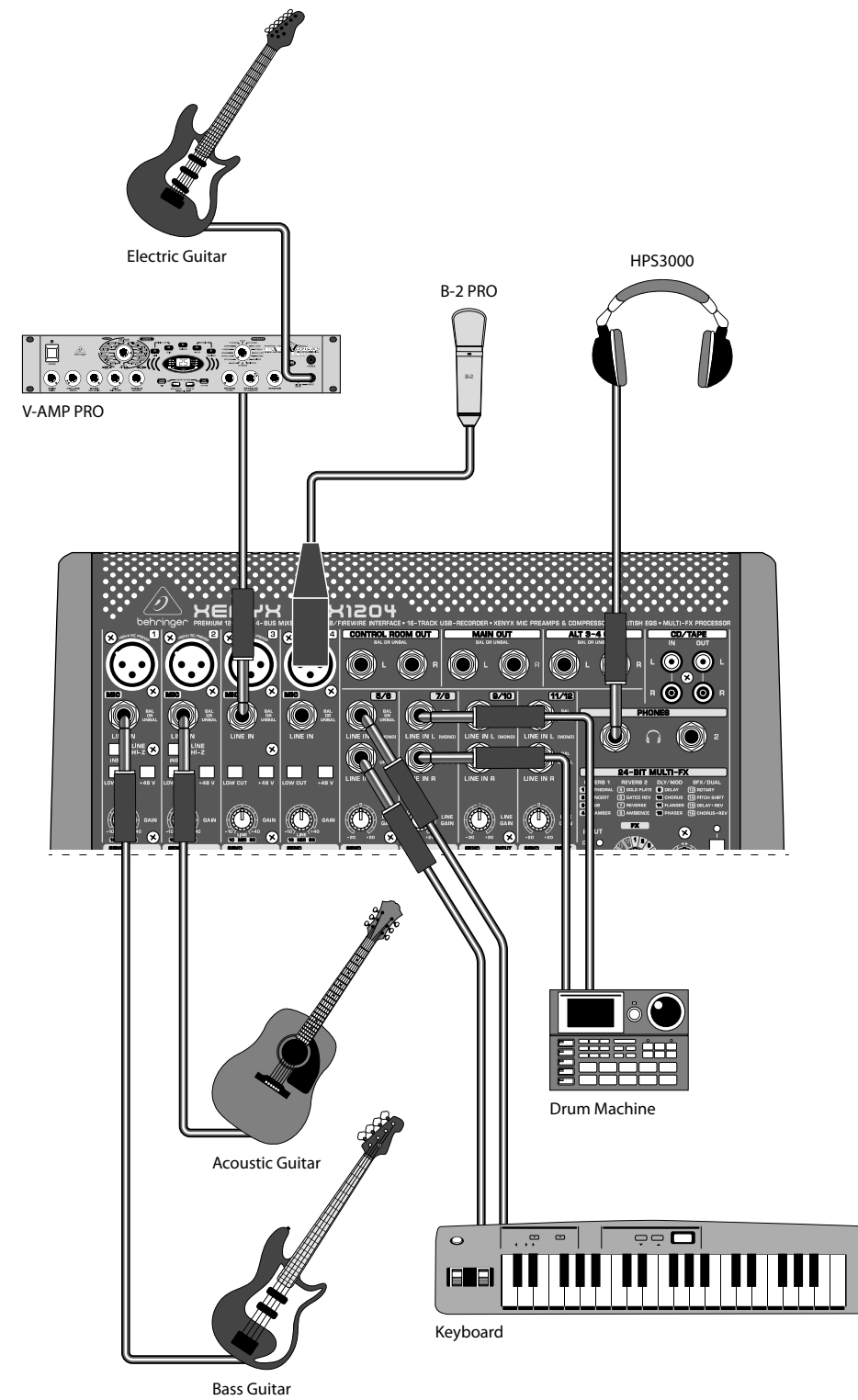
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

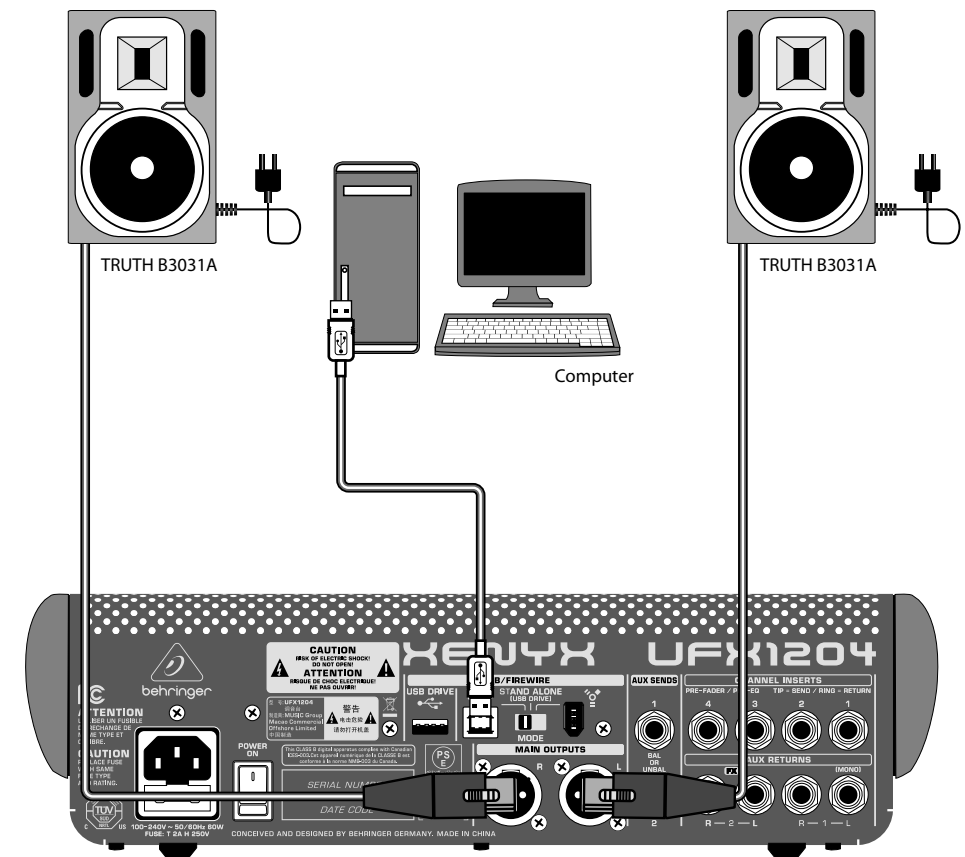
XENYX UFX1204 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

Project Studio top panel



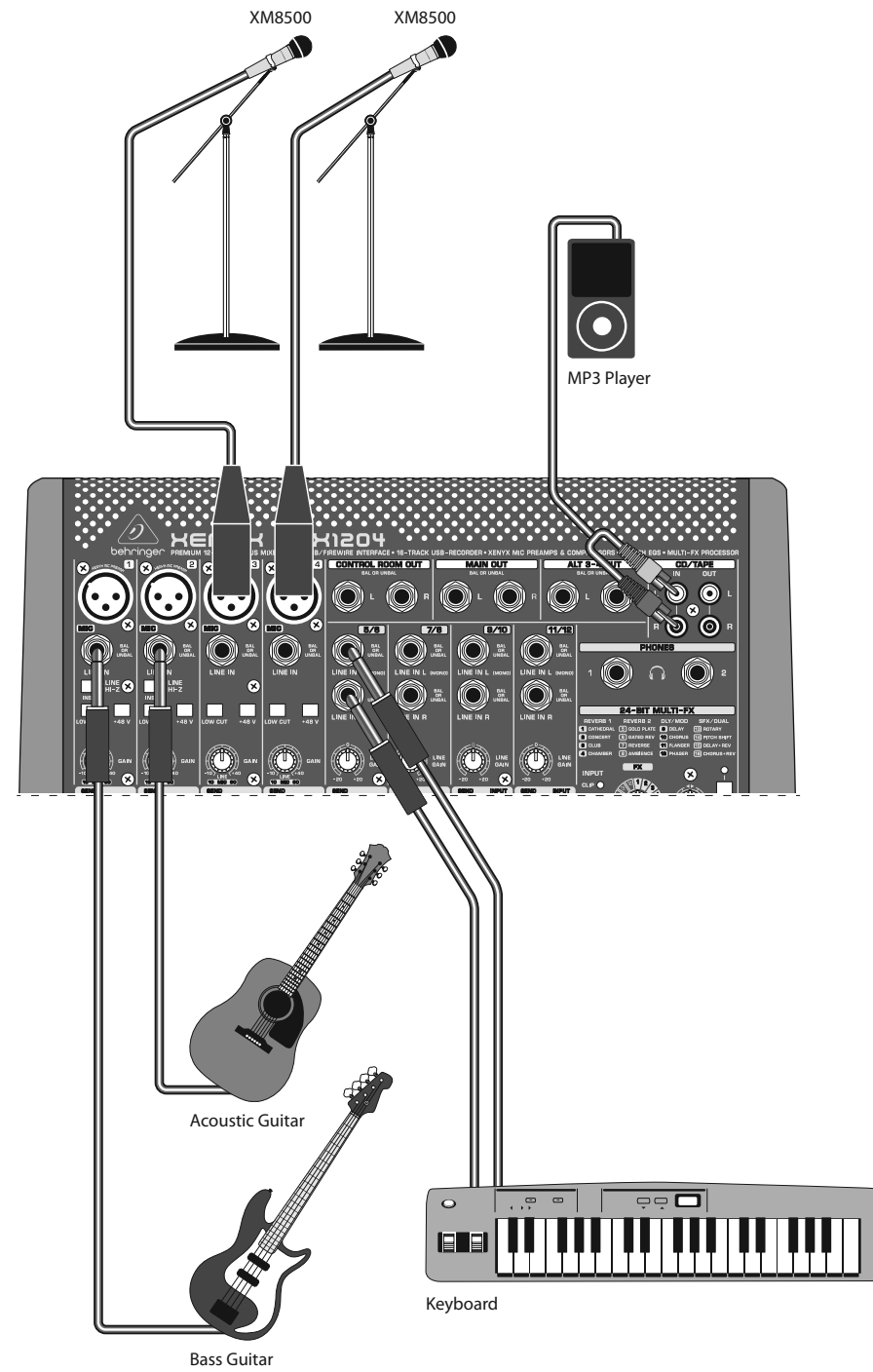
Project Studio rear panel



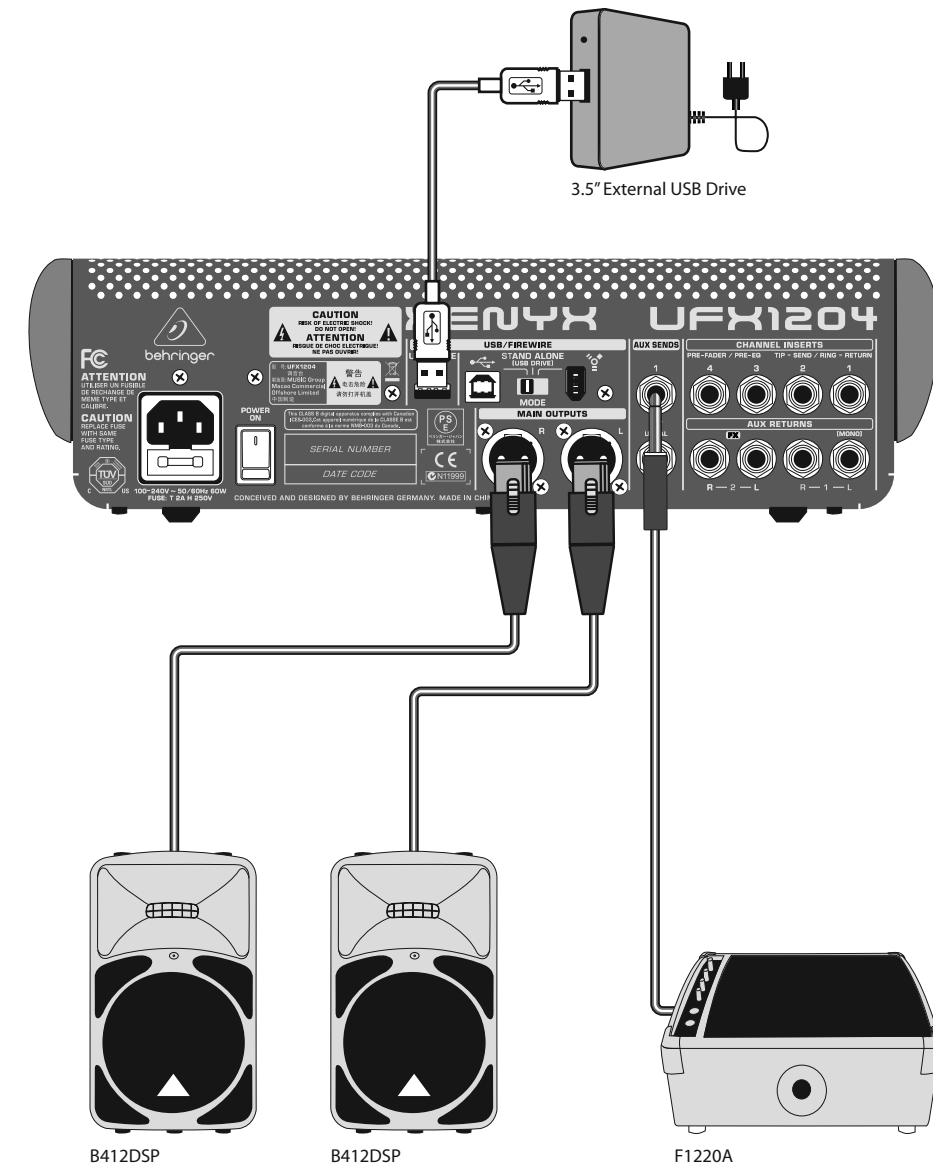
XENYX UFX1204 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

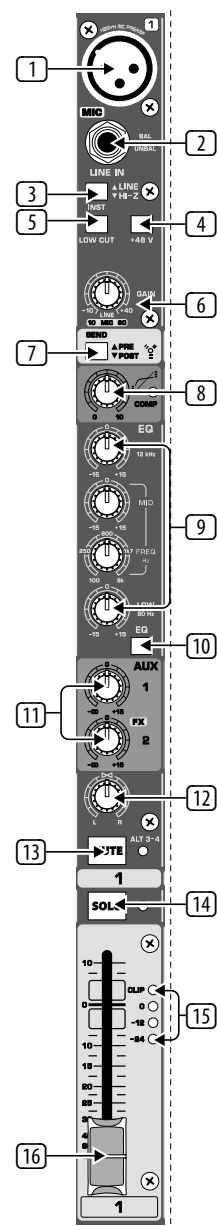
Live Performance top panel



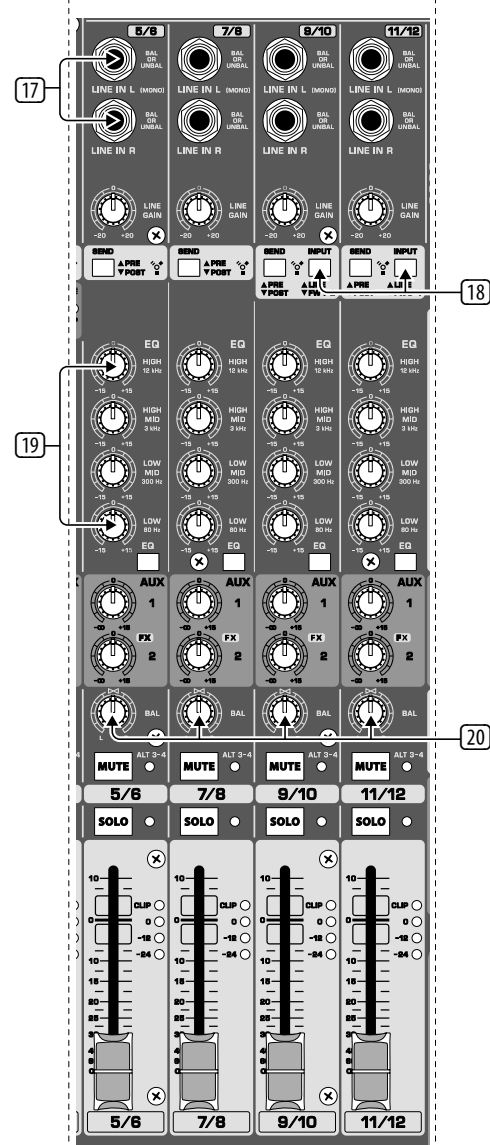
Live Performance rear panel



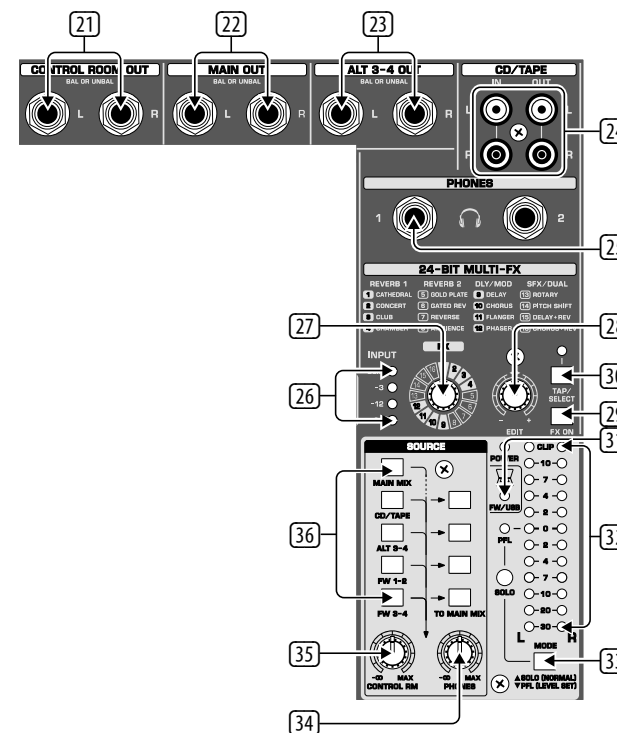
XENYX UFX1204 コントロール



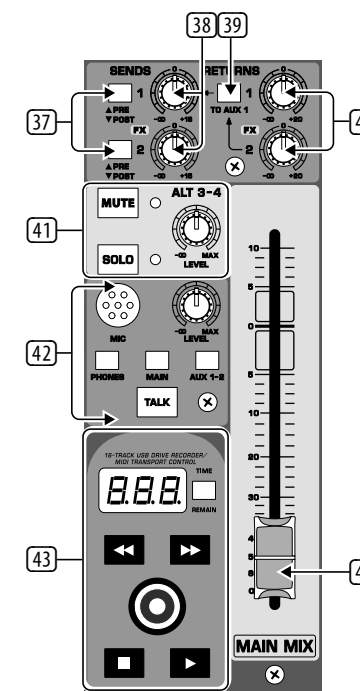
Controls



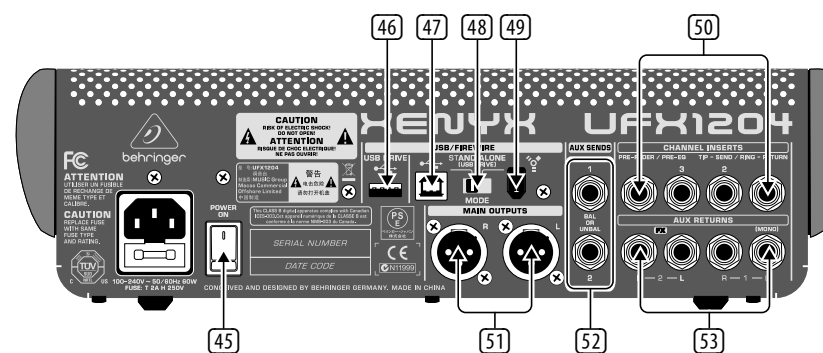
Stereo Inputs



Monitoring/Effects Controls



Sends and Returns Controls

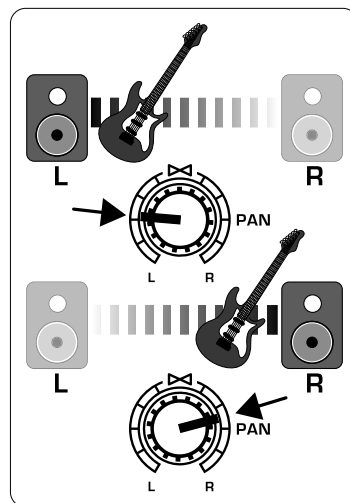


Rear Panel Controls

XENYX UFX1204 コントロール

ステップ 2: コントロール

- ① XLR バランス入力。
- ② LINE/HI-Z 入力。
- ③ LINE/HI-Z ボタン (チャンネル 1, 2 のみ) ハイインピーダンスモード時にはギターやベースなどダイレクトボックス (D.I.) を使わずに直接入力可能です。
- ④ +48V ファンタム電源は 9V DC から 48V DC 間で動作するコンデンサーマイク使用可能です。
- ⑤ LOW CUT ボタンは 80 Hz 以下の周波数をカットします。
- ⑥ GAIN ノブは MIC および LINE/HI-Z 入力感度を調節します。
- ⑦ SEND ボタンで FireWire/USB の入力信号をプリ またはポスト EQ へ送るかを選択可能です。
- ⑧ COMP ノブはチャンネルに搭載されたコンプレッサーのエフェクト量を調整します。
- ⑨ EQ ノブはチャンネルの HIGH, MID, LOW 周波数を調整します。MID の周波数は FREQ ノブで選択が可能です。
- ⑩ EQ ボタンで EQ セクションのオン・オフが可能です。
- ⑪ AUX/FX ノブはチャンネル信号をどれだけ AUX SEND 端子または内蔵 FX プロセッサに送るかを調整します。
- ⑫ PAN ノブでチャンネル信号のステレオ定位を設定します。



- ⑬ MUTE ボタンは MAIN MIX からチャンネルをミュートし、ALT 3-4 バスに信号を送ります。
- ⑭ SOLO ボタンはソロバスあるいは PFL (PFL-プリフェーダーリスン) バスにチャンネル信号を送ります。
- ⑮ レベルインジケータはチャンネルの入力信号レベルを表示します。
- ⑯ チャンネルフェーダーはチャンネルの音量を調節します。
- ⑰ LINE IN L と LINE IN R 端子は、モノラルおよびステレオ信号を入力します。
- ⑱ LINE / FW1-2 (3-4) ボタンにより、これらのチャンネルに FireWire/USB 経由でルーティングされ、EQ と AUX とフェーダーの機能によってコンピュータからの信号を制御します。
注意: すべての FireWire (FW) ルーティングスイッチは MODE セレクタースイッチ (48) の設定により、USB 接続のコンピュータや USB スタンドアロンモードで動作します。
- ⑲ ステレオチャンネル用 4 バンド EQ。
- ⑳ BAL (バランス) ノブは、入力信号がメインミックスバスにルーティングされる前に、左右の相対的な音量をコントロールします。
- ㉑ CONTROL ROOM OUT 端子はエフェクトおよびメインミックス信号だけでなく、ソロチャンネルの信号も出力することが可能です。
- ㉒ MAIN OUT 端子はパワードスピーカーおよびパワーアンプをラインレベルで接続可能です。
- ㉓ AL3-4 OUT 端子は、レコーディング機器、パワードスピーカーまたはパワーアンプ等にメインミックスとは別のステレオミックスをラインレベルで出力します。また、サブグループ出力としても使用することが可能です。

- ㉔ CD/TAPE IN および OUT はステレオソースのメイン信号を外部録音機器に送ります。
- ㉕ PHONES 端子はヘッドフォンを接続可能です。
- ㉖ INPUT レベルメーターは FX バスへ行く信号量を表示します。
- ㉗ FX エフェクトノブは信号にかかるエフェクトを選択します。
- ㉘ EDIT ノブはエフェクトのパラメータの調節をします。
- ㉙ FX ON ボタンを押す事によりエフェクトのオン / オフが可能です。
- ㉚ TAP/SELECT ボタンは 2 つの機能が有ります。プリセット 9 や 15 のディレイタイムやプリセット 10-12 のモジュレーションスピードを合わせるために、楽曲のテンポに合わせてボタンを数回押してみてください。ボタンをテンポに合わせてクリックすると、ボタンは対応するテンポで点滅し始めます。また、TAP/SELECT ボタンはプリセット 1-8、13-14 と 16 のセカンドパラメータの特性を変更します。ボタンを押すことによって、セカンドパラメータの 2 つの異なる値 (ライト オン / オフ) を切り替えることができます。
- ㉛ FW/USB LED はコンピュータを接続すると点灯します。(背面パネル上のセレクトスイッチに抛ります)
- ㉜ VU METER ディスプレイは MAIN OUTPUT の入力レベルを表示します。
- ㉝ MODE ボタンは、SOLO ボタンが 'ソロ' (ボタンアウト) または 'PFL: プリフェーダーリスン' (ボタンイン) で作動するかどうか決めます。PFL は通常ゲイン設定の目的のために用いられます。
- ㉞ PHONES ノブは PHONE 端子の音量レベルを調整します。
- ㉟ CONTROL RM ノブは CONTROL ROOM OUT 端子の音量を調整します。
- ㊱ SOURCE モニタリングセレクトボタンは、CONTROL RM/PHONES 端子 (左列) あるいは MAIN MIX (右列) のいずれかへ信号を送ります。
- ㊲ PRE/POST フェーダーセレクトボタンは AUX と FX SEND バス用です。
- ㊳ AUX SEND 1-2 to FW 13-14 スイッチは FireWire/USB 経由のミキサーチャンネル 13-14 を無効にし、AUX SEND 1-2 はコンピュータ (録音用等) に送ることをができます。
- ㊴ AUX RETURN 2 のソース信号用ルーティング設定スイッチ。
- ㊵ AUX RETURN 1-2 ノブは AUX RETURN バス 1-2 (リアパネル) または内蔵 FX (AUX 2 のみ) からのリターン信号レベルを調整します。
- ㊶ ALT 3-4 バス用の MUTE, SOLO および出力 LEVEL ノブ。
- ㊷ TALKBACK MIC (内蔵), LEVEL ノブ (マイクの音量を調節), DESTINATION スイッチおよび TALK ボタン (押している間話す)。
- ㊸ 16 TRACK USB DRIVE RECORDER/ MIDI TRANSPORT CONTROL は MIDI マシンコントロールとして、FireWire または USB 経由でコンピュータに接続した状態で使用可能です。また、内部の USB レコーダ機能を制御するための STAND ALONE MODE で使用されます。
- ㊹ MAIN MIX ステレオフェーダーはミキサーの全体的な出力を調整します。
- ㊺ POWER ON でミキサーの電源が入ります。

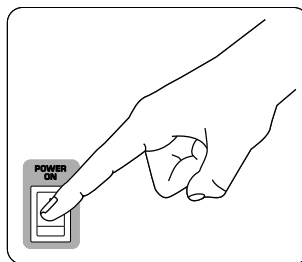
- ㊻ 外付け USB ハードディスクドライブ (推奨) または STAND ALONE モードでサムドライブで使用するための USB DRIVE ジャック。
- ㊼ USB 端子によりコンピュータとの接続が可能です。
- ㊽ MODE セレクタースイッチ。
- ㊾ FireWire 端子によりコンピュータとの接続が可能です。
- ㊿ CHANNEL INSERTS により、個々のチャンネル (1-4) のプリ FADER およびプリ EQ に外部エフェクトを接続することが可能です。
- ① バランスの XLR ケーブルで MAIN MIX を送るための MAIN OUTPUTS。
- ② AUX SENDS はバランスまたはアンバランスの 1/4" ケーブルによって 2 つの AUX バス信号を送ります。
- ③ AUX RETURNS はプロセッサを通して AUX SEND ジャックからエフェクト信号を指定の AUX バスへステレオで戻すことが可能です。また、これらの入力にはキーボードのようなライン音源を接続するために使用することもできます。

XENYX UFX1204 はじめに

ステップ 3: はじめに

- 1** 全ての接続機器の電源をオフにして下さい。
- 2** ミキサーに電源、オーディオおよび FireWire/USB ケーブルを接続して下さい。
- 3** 全てのフェーダーを下げ、全ての PAN/BAL ノブまたは、中央とその他ノブ (EQ を除く) を左いっばいに回し切ってください。

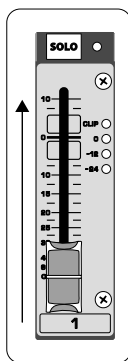
- 4** ミキサーの電源を入れます。



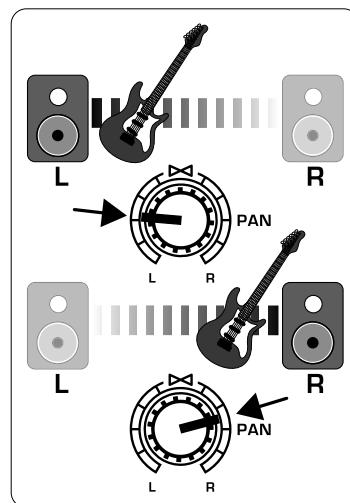
- 5** MAIN MIX フェーダー、PHONES、CONTROL RM および ALT 3-4 ノブを下げてから PA システムあるいはパワードモニターの電源をオンにします。

- 6** 0 から適切なレベルまで MAIN MIX フェーダー、PHONES、CONTROL RM および ALT 3-4 ノブをゆっくりと上げてください。

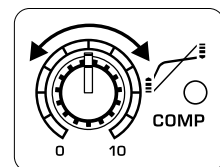
- 7** 各 CHANNEL FADER を上げ、接続しているマイクおよび接続機器のレベルを調節してください。



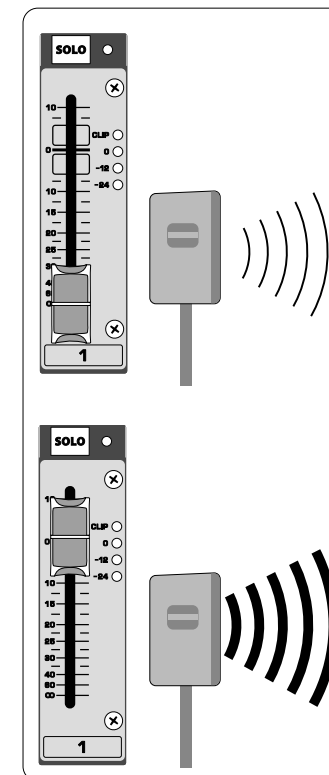
- 8** チャンネルの PAN または BAL ツマミで、チャンネルの左右のバランスまたは ステレオの定位を必要に応じて調整します。



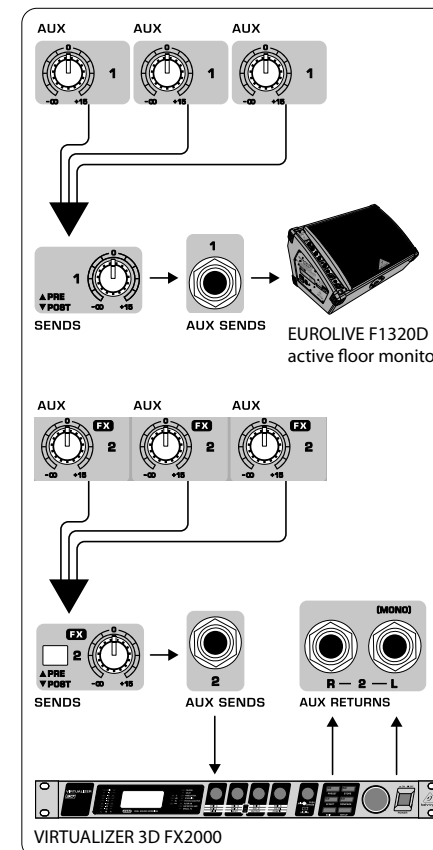
- 9** コンプをかける場合は COMP ノブを必要に応じて調節してください。



- 10** ライブ用途では、MAIN MIX フェーダーを上げミキサーからパワーアンプ、あるいはパワードスピーカーの全体的な出力を調節してください。VU METER 上の CLIP LED がつく場合は、MAIN MIX フェーダーを下げて下さい。



- 11** チャンネル AUX ノブとマスター AUX SEND ノブはチャンネル信号をエフェクトプロセッサまたは AUX SEND 端子に接続されたステージモニターへ送ります。外部エフェクトを使う場合は機器からの戻り信号を AUX RETURN 端子に接続します。

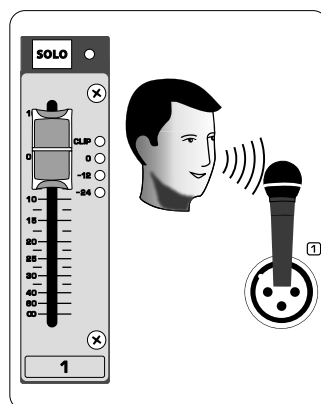


Gain Setting

Step 4: ゲインセッティング

1 チャンネル 1 の SOLO ボタンを押します。メインセクションの VU METER 下の MODE ボタンを押すと METER が PFL (プリフェーダーリッスン) モードで動作します。

2 チャンネル 1 に接続されたマイクおよび楽器で通常レベルで発声や歌または演奏をしてください。



3 歌や演奏をしながら、チャンネル 1 の GAIN ノブを調整して下さい。VU メーターにレベルが表示されます。ゲインを設定する際、大きな音で VU メーターでピークが 0 に到達する様に調整します。再びチャンネル 1 の SOLO ボタンを押してください。

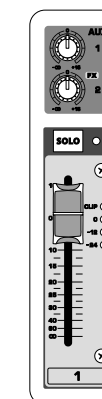
4 他のチャンネルでも 1-3 のステップを行ってください。

マルチエフェクトプロセッサ

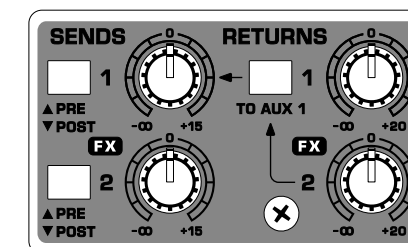
Step 5: マルチエフェクトプロセッサ

ミキサーにはエフェクトプロセッサが搭載されています。次の手順によりエフェクトをかけることができます。

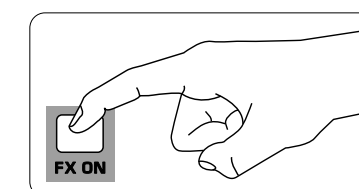
1 エフェクトをかけたいチャンネルの FX ノブを半分ほど回します。



2 FX SEND と FX RETURN ノブを回し "0" に合せます。後でそれらは任意に調整が可能です。

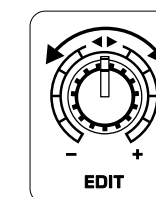


3 FX ON ボタンを押しオンにします。



4 FX ノブを回してエフェクトをスクロールします。

5 EDIT ノブによりエフェクトの強さの調整をします。



6 プリセット 1-8、13-14 あるいは 16 を使用し手いる場合、TAP/SELECT ボタンはセカンドパラメーター (ライトオフ / オン) の 2 つの異なるバリュー間をトグルします。プリセット 9 および 15 でディレイタイムを調節するためには、音楽のテンポに合わせ TAP/SELECT ボタンを数回押してください。同様に、プリセット 10-12 の調整速度を調節するために TAP/SELECT ボタンを数回押してください。ボタンは調整したテンポの速さで点滅します。

7 エフェクトが丁度良くかかるように各チャンネルの FX ノブで再調整します。

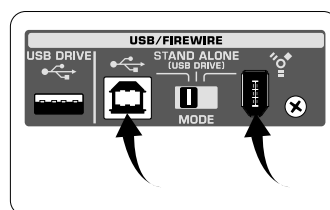
FireWire および USB レコーディング。

Step 6: FireWire および USB レコーディング

ミキサーは AD/DA コンバーターを備えており、コンピューターに音源を送受信するための FireWire および USB を備えています。

1 Windows パソコンでは UFX1204 用のドライバーがインストールされていることを確認してください。(Mac OS X ではドライバーは必要ありません)。

2 FireWire または USB でコンピューターにミキサーを接続してください。ミキサーのバック・パネルにある 3 ウェイスイッチでセットしてください。

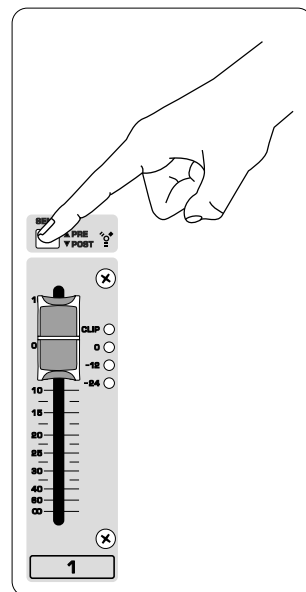


3 使用している DAW ソフトウェアで UFX1204 の入出力を選択します。

4 サンプル・レートと、ビットのデプスを DAW (デジタル・オーディオ・ワークステーション)ソフトウェアにて設定します。

5 マイク、楽器、ラインレベルの音源などをチャンネル入力に接続してください。各チャンネル (モノトラックもしくはステレオトラック) はプリまたはポスト EQ でレコーディングソフトウェアへレコーディング可能です。

MAIN Mix は MAIN MIX ASSIGN TO FW 15-16 ボタンを押すことによってレコーディング可能です。これによりメインミックス信号はアウトポート 15/16 から DAW へ送られます。

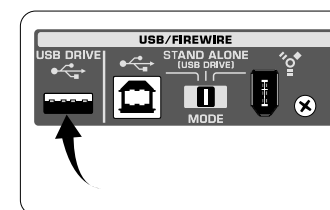


6 レコーディング・ソフトウェアでトラックを待機状態にし、準備ができ次第レコーディングを開始してください。

STAND-ALONE モードでの USB ドライブへのレコーディング

Step 7: STAND-ALONE モードでの USB ドライブへのレコーディング

1 ミキサーの背面パネルにて STAND ALONE モードが選ばれることを確認してください。(中央位置)。



2 新しい USB ドライブが挿入された場合、ミキサーはオーディオの音質を決定するドライブの書き込み速度をテストします。結果は、TRANSPORT に表示され、CONTROL は "Lo" (16 ビット) あるいは "Hi" (24 ビット) として表示します。もしドライブのレコーディングのための速度があまりにも遅いと、テスト後「SL0」と表示されます。

3 お使いのドライブをフォーマットする必要がある場合は、**1** と **2** を同時に押します。TRANSPORT CONTROL 上では "For" と表示 (点滅) します。**1** を押すことにより、フォーマットの開始および停止が可能です。

4 サンプルレート設定を表示するにはサンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したままにします。

5 サンプルレートを 44.1 kHz にするにはサンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したまま **1** を押します。

6 サンプルレートを 48 kHz にするにはサンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したまま **2** を押します。

7 接続したマイク、楽器および機材等のソース信号は、TRANSPORT CONTROL 上の **1** ボタンを押す事により、ファイルとして個々のチャンネルを備えた USB ドライブに新しいフォルダーを作成します。これで録音準備が整いました。

8 終了時は **1** を押してください。録音したファイルは番号 (1-99) で TRANSPORT CONTROL スクリーン上に表示されます。

9 レコーディングモードとプレイリストモードを切り替えるには TIME REMAIN と **2** を同時に 2 秒間長押しします。

10 録音中にナビゲートまたは視聴をする場合には、録音モードである必要があります。プレイリストモードは、PC/Mac からドライブにコピーした WAV ファイルのみを再生するためのものです。レコーディングモードでは **1** ボタンを押すと今レコーディングしたものを聞くことができます。スタートに戻るには、TRANSPORT CONTROL の **1** ボタンを 1 度押してください。**1** を 2 回押して前のレコーディングに移動します。**2** を 1 回押すと次のレコーディングスタートへ移動します。注: **1** または **2** を長押ししてトラック内の早送り/巻き戻しはできません。MAIN MIX レコーディング (トラック 15/16) はコントロールルームセクションまたは FW 3-4 が押されたチャンネル 11/12 でプレイします。














11 シングル再生と連続再生モードを切り替えるには (プレイリストモード) **1** を長押しして下さい。

12 レコーディングモードで曲の削除を行う際には、再生や録音を停止し、**1** と **2** を同時に押して行います。削除を完了するには **1** キャンセルを行う場合は **1** を押します。

13 IMPORTANT NOTE: USB レコーダーは wav ファイルで 44.1 または 48.0 kHz のサンプルレート、サブフォルダ無しの "MyWav." とラベルがついているフォルダから認識され再生することができます。

STAND-ALONEモードでの USB ドライブへのレコーディング

Step 7: STAND-ALONE モードでの USB ドライ ブへのレコーディング

トランスポートコントロール機能チャート	
残り時間の表示	 TIME REMAIN を短く押す
サンプルレート表示	 サンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したままにする
44.1 kHz サンプルレートを選択	 TIME REMAIN を長押しした後に  を押す サンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したまま  を押す
48 kHz サンプルレートを選択	 TIME REMAIN を押したまま  を押す
PLAY <> PAUSEの切替	 PLAY を押す(スタート) >  PLAY を押す(一時停止) >  PLAY を押す(再生) > その他.
レコーディング (例 "001") <> プレイリストモード (例 "P01") 切替	 TIME REMAIN と  を同時に 2 秒間長押し
1 曲再生 ("Pxx") <> プレイリスト連続再生 ("cxx") [プレイリストモードのみ] 切替	 PLAY を 2 秒間長押し
USB ドライブ*の FAT フォーマット	 STOP と  を同時に 2 秒間長押し
現在のソングを削除 (レコーディングモードにて)*	 PLAY と  を同時に 2 秒間長押し

*確認は PLAY を押す / その他ボタンは強制終了

エラーコード:	
DrP	レコーディング中にドロップアウト発生時。レコーディング後ドロップアウトの合計を表示 (e.g. d03)
FSE	ファイルシステムエラー: ドライブが互換性のないファイルシステムである時。ドライブは UFX でフォーマットされていることが必要。
oFF	レコーダーオフ: ドライブが SLO (遅すぎる) と認識された時。
SLO	接続された USB ドライブが遅すぎる場合にはレコーディングができません。

内蔵 USB レコーダーには USB メモリーや 2.5" USB バスパワー供給の外部ドライブは動作可能ですが、外付け電源供給のハードドライブの使用を推奨します。

で MIDI CONTROL を扱う際の機能

Step 8: MIDI CONTROL を扱う際の機能

UFX1204 の TRANSPORT CONTROL セクション内の 2 つの MIDI コントローラーモードのうち 1 つを選択し MIDI をコントロールすることができます: STANDARD MIDI MODE または MACKIE CONTROL MODE。

- 必ずミキサーの電源をオフにしてください。
- MACKIE CONTROL MODE を選択するには、 を押しながら電源を投入後  を離すと、ディスプレイに "MAC" と表示がされます。STANDARD MIDI MODE を選択するには、 を押しながら電源を投入後  を離すと、ディスプレイに "STD" と表示がされます。
- STANDARD MIDI MODE では UFX1204 の TRANSPORT CONTROL ボタンで、レコーディングソフトウェアのマップでトランスポートコントロールが可能です。MACKIE CONTROL MODE ではお使いのレコーディングソフトウェアのプロトコルに従います。

その他の情報、マニュアルは behringer.com をご覧ください。

JP 技術仕様

Mono Inputs	
Microphone inputs (XENYX mic preamp)	4
Type	XLR, electronically balanced, discrete input circuit
Mic E.I.N. ¹ (20 Hz - 20 kHz)	
@ 0 Ω source resistance	-129 dB / 131 dB A-weighted
@ 50 Ω source resistance	-128 dB / 130 dB A-weighted
@ 150 Ω source resistance	-127 dB / 129 dB A-weighted
Frequency response	<10 Hz – 140 kHz (-1 dB) <10 Hz – 200 kHz (-3 dB)
Gain range	+10 dB to +60 dB
Max. input level	+12 dBu @ +10 dB gain
Impedance	approx 2.06 kΩ balanced
Signal-to-noise ratio	110 dB A-weighted (-10 dBu in @ +32 dB gain)
Distortion (THD+N)	0.0045% (-20 dBu in @ +20 dB gain)
Phantom power	+48 V, switchable per mic channel
Hi-Z input impedance	1 MΩ
Line Inputs	
Type	¼" TRS connector, balanced
Impedance	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced
Gain range	-10 dB to +40 dB
Max. input level	30 dBu
Stereo Inputs	
Type	¼" TRS connector, balanced
Impedance	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced
Gain range	-20 dB to +20 dB
Max. input level	+22 dBu
CD/Tape In	
Type	RCA connector
Impedance	10 kΩ
Max. input level	+22 dBu
EQ Mono Channels	
Low	80 Hz / ±15 dB
Mid	100 Hz to 8 kHz / ±15 dB
High	12 kHz / ±15 dB
Low cut	80 Hz, 18 dB/oct.
EQ Stereo Channels	
Low	80 Hz / ±15 dB
Low mid	300 Hz / ±15 dB
High mid	3 kHz / ±15 dB
High	12 kHz / ±15 dB
Channel Inserts	
Type	¼" TRS connector, unbalanced
Max. input level	+22 dBu
Crosstalk	
Main fader closed	90 dB
Channel muted	88 dB
Channel fader closed	88 dB
Aux Sends	
Type	¼" TS connector, unbalanced
Impedance	120 Ω
Max. output level	+22 dBu

Aux Returns	
Type	¼" TRS connector, balanced
Impedance	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced
Max. input level	+22 dBu
Main Outputs	
Type	XLR and ¼" TRS balanced
Impedance	240 Ω balanced, 120 Ω unbalanced
Max. output level	+28 dBu
Control Room Output	
Type	¼" TS connector, unbalanced
Impedance	120 Ω
Max. output level	+22 dBu
Dual Phones Output	
Type	¼" TRS connector, unbalanced
Max. output level	+22 dBu / 23 Ω - 300 mW @ 100 Ω
CD/Tape Out	
Type	RCA connector
Impedance	1 kΩ
Max. output level	+22 dBu
Effects	
Converters	24-bit Delta-Sigma, 128-times oversampling
Sampling rate	48 kHz
FireWire/USB Interface	
Operation modes	FireWire 400 or USB 2.0
Connectors	6-pin FireWire 400 (IEEE1394A), USB 2.0 Type B
Converters	24-bit
Sample rate	44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz
Channel number	16 x 4 in/out
Operating systems	Windows XP or higher, Mac OS X
Low latency audio support	ASIO (Win), CoreAudio (Mac)
Transport section MIDI control	Standard MIDI mode (CC/note commands) or Mackie control mode
USB Recorder (Stand Alone Mode)	
Connector	USB 2.0 (Type A)
Storage device	External USB 2.0 hard-disk drive (operation depends on required power consumption)
Sample rate	44.1 kHz, 48 kHz
File format	WAV (uncompressed)
File system	FAT 16 / FAT 32
Number of recorded channels	16 tracks (stored as mono WAV files)
Power Supply	
Mains voltage	100 - 240 V~, 50/60 Hz
Power consumption	60W
Fuse (100 - 230 V~, 50/60 Hz)	T 2A H 250 V
Mains connector	Standard IEC receptacle
Physical/Weight	
Dimensions (H x W x D)	104 x 329 x 444 mm (4.1 x 13.0 x 17.5")
Weight	4.5 kg (9.9 lbs)

1 Equivalent Input Noise

Effect no.	Effect	EDIT Parameter 1	TAP/SELECT Parameter 2	TAP/SELECT LED
1	CATHEDRAL	Reverb time	Brilliance	off/on
2	CONCERT	Reverb time	Brilliance	off/on
3	CLUB	Reverb time	Brilliance	off/on
4	CHAMBER	Reverb time	Brilliance	off/on
5	GOLD PLATE	Reverb time	Brilliance	off/on
6	GATED REV	Reverb time	Brilliance	off/on
7	REVERSE	Reverb time	Brilliance	off/on
8	AMBIENCE	Room size	Brilliance	off/on
9	DELAY	No. of repetitions	Time interval TAP	flashing (BPM tempo)
10	CHORUS	Intensity	Tempo TAP	flashing (tempo)
11	FLANGER	Intensity	Tempo TAP	flashing (tempo)
12	PHASER	Intensity	Tempo TAP	flashing (tempo)
13	ROTARY	Intensity	Tempo	off/on
14	PITCH SHIFT	Semi-tone steps (+/-12)	Detune	off/on
15	DELAY+REV	Delay vs. reverb ratio	Time interval TAP	flashing (BPM tempo)
16	CHORUS+REV	Chorus vs. reverb ratio	Reverb time	off/on

FIREWIRE, MAC AND OS X ARE TRADEMARKS OF APPLE INC., REGISTERED IN THE U.S. AND OTHER COUNTRIES.
WINDOWS IS A REGISTERED TRADEMARK OF MICROSOFT CORPORATION IN THE UNITED STATES AND OTHER COUNTRIES.
MACKIE IS A REGISTERED TRADEMARK OF LOUD TECHNOLOGIES INC.

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにいるときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to MUSIC